

第2回岡谷市基本構想審議会

会 議 録

【出席者】

○委員(13名)

味澤宏重 委員、太田博久 委員、太田深穂 委員、奥原一由 委員、小林妙子委員、齋藤博子 委員、高見澤恒子 委員、武田彰 委員、中村進 委員、中山昇 委員、新田隆史 委員、山崎舜次 委員、横内文雄 委員

(※欠席者…小口泰史 委員、笠原新太郎 委員、上沼隆弘 委員、黒河内孝行 委員、薩摩建 委員、中畑聖二郎 委員、山田和男 委員 以上7名)

○第5次岡谷市総合計画策定本部(3名)

(本部長) 岡谷市長 今井竜五、

(副本部長) 副市長 小口明則、

(本部長) 企画政策部長 岩垂俊男

(事務局)

企画課長 木下稔

企画課主幹 清水亮

同主査 新村尚志

同主事 水澤優馬

第2回岡谷市基本構想審議会 会議録

令和元年9月24日（火）
午前10時00分～午前11時45分
イルフプラザ3階第7研修室

1 開会

市民憲章唱和

2 市長あいさつ

3 会長あいさつ

《市長退席》

4 議事

(1) 岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略平成30年度進捗状況について

(2) 地方創生推進交付金充当事業の執行状況について

会長	議事を進行させていただく。 会議事項（1）岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略平成30年度進捗状況について、会議事項（2）地方創生推進交付金充当事業の執行状況について一括して事務局よりご説明をお願いします。
企画課主幹	《資料1、資料2について説明》
会長	ただ今、ご説明いただいたことについてご質問、ご意見等あればお願いしたい。どんな事でも構わない。感じたことをお話いただければ。
M委員	資料1、P13の東京スカイツリー5階の全国観光PRコーナーについては、常設のものなのか。それとも期間限定か。
企画課主幹	一週間ほどの期間限定の設置になっている。
M委員	いつごろ行っているのか。
企画課主幹	昨年の夏。太鼓祭り前になる。太鼓祭りの周知も含めて行った。
F委員	資料1、P19の空き家の情報について、どういった方達が利用しているのか、あるいは、市内に住んでいる人達だけが利用しているのか知りたい。登録数が増えているのは良いことだと思うが、その情報を活用しているのは、市外に住んでいる人なのか、あるいは市内に住んでいる人なのか。
企画課主査	担当課に確認したところ、成約した内訳としては、ほとんどが市内の方とのこと。成約した中で3件は市外の方ということで、引き続き市外の方達にも利用していただけるように準備をしていく。

F 委員	<p>数値的には良く、岡谷に住まわれている方からが多いということで、市外への流出を防いだという面からも良いと思う。やっぱり、人口減少ということを考えるのであれば、市外から人を呼び込む、市外に行こうとしている人を出さないように食い止めるというところで効果があると思う。</p>
B 副会長	<p>婚活イベント参加者数について記載があり、参加者の数字を示していると思うが、実際にまとまった数をお聞きしたい。</p>
企画課主幹	<p>婚活イベントに来られた方の中でどれくらいカップルが成立したかということか。</p>
B 副会長	<p>結婚に結びついたか。実は、私も婚活のサポートを行っているがなかなか難しく、両者の思っていることが全然合わない。一生懸命行っているがなかなかまとまらないので、こうしたイベントをしていけばまとまってくるかなと思ったので、参考にどのくらいまとまったのかお聞きしたい。</p>
企画課課長	<p>広域の場合を含めて、なかなか参加者にそこまで報告義務を付けることができない。最終的にどのくらいの方がゴールインしたかについては、把握しきれていない。プロが入って司会を行ったりすると、その場でカップルが成立する回数は増えてきていると聞いている。</p>
B 副会長	<p>ありがとうございます。この間、市役所で話を聞いたら、年間で数件しかまとまらないという話を聞いたので、イベントをやっていたほうがいいのかと思った。</p>
F 委員	<p>P 40 の転入、転出人口について、これは企業の関係で出たり入ったりする部分はかなり大きいと思う。どの程度が企業での関係か把握しているか。そういうところまで見ていかないと本当の意味での対応策とはなっていないと思う。</p>
企画課課長	<p>そこまでの数字の把握は努めていない部分がある。</p>
企画政策部長	<p>年代別の転出データを見ると、20 歳前後の年代層の減少が大きい。傾向とすると、高校を出て首都圏を中心に大学へ進学が多いのかなど。そういう方達が大学卒業後、岡谷へ戻ってきてもらえればいいが、そこが少ないところが課題としてあると認識している。企業との関係での出入りという部分は、生産年齢人口で見ると、30 代、40 代という部分になるかと思うが、出る人もいれば入ってくる人もいる。大きな課題とすれば、若年層の大学進学を機会に市外へ転出した人をいかに岡谷に戻すかということ、または、出て行った人だけではなくて、首都圏に住む方に岡谷の魅力を感じていただいて移住につなげるということだと思っている。</p>
J 委員	<p>年代別人口推移について、定年後の人口は増えているのか。</p>
企画課長	<p>地方創生のパンフレットを見ていただくと、年齢 3 区分別人口数の推移では、団塊の世代の方々がここで 75 歳になるということで、上昇傾向にある。一方で出生率が落ちているということで、年少人口が減少している。</p>
企画政策部長	<p>転入、転出という部分で 50 歳以上を見ると均衡している。市外へ出て</p>

	<p>いるという傾向はないと感じる。しかし、高齢化は進んでいるので高齢者の割合は増えている。</p>
J委員	<p>高齢者でも人口が少しでも増えれば数字的にはありがたいのではと思った。</p>
C委員	<p>P16のシルクファクトおみや年間入館者数が減少している理由についてお聞きしたい。</p>
企画課主幹	<p>29年度あたりは、大型のツアー、見学があり年間の入館者が順調に伸びていたが、平成30年はそのツアーが無かったということで、こういう数字になっている。ただ、シルクファクトとするとただ見ているだけではなく、利用者増に向けて団体客に来ていただけるようにPRに取り組んでいる。</p>
C委員	<p>オープンしてから、だんだん客が減っていく施設が多い中で、頑張っていることは分かる。ただ、細かい話になるが、2階部分が物置のようになっているので、そういうところを活用したり、飲食できる場所を設けたりというところをこれから考えていかないと客は減ってってしまうと思う。</p>
B副会長	<p>シルクファクトについて、私も客が来ると案内をしているが、立って見て回り、その後、どこかへ移動をしないと座ってお茶もできない。休むところ、コーヒーが飲めるところ、お昼が食べられるところがあれば人が増えると思う。そこらへんはいかがか。</p>
会長	<p>ご意見として聞いていただければ。</p>
O委員	<p>P7の企業誘致件数については、0ということだが、企業を誘致する場所があるのか。また、生産年齢人口が減少している中で、労働力の確保についてお聞きしたい。</p>
企画課課長	<p>平成29、30と企業誘致件数は0となっているが、企業誘致をさせていただくと同様に市内企業の工場用地の確保ということも多くなり、市内企業を流出させないための対応が多くなった部分もある。企業誘致のための工場用地については、用途地域等によりいろんな制約があるため、適地というのは常に探している状況だが、今すぐに提供できる場所は確保できていない状況。</p>
P委員	<p>資料2で諏訪圏6市町村によるSUWAブランド創造事業について説明していただいた。私はこの事業の中のSUWA小型ロケットプロジェクトのプロジェクトマネージャーであるので少しコメントさせていただきたい。この事業費の半分は内閣府から予算を出していただき、6市町村にもご負担いただいている。感謝する。</p> <p>10月6日、13日にモデルロケット教室というものをテクノプラザ岡谷で開催する。13日には、SBCの「夢テレビ2019」というので生放送がある。是非関係する方々には見ていただきたい。</p> <p>この事業は、岡谷市を活性化していこうということで、若い世代の人材育成をしていくということが大切だと思っている。製造業に対して興味を</p>

	<p>もっていただくということで小中学生にもものづくりを経験していただいて、岡谷の製造業に入っていきたいという夢をもっていただきたい。座談会やモデルロケットワークショップでは、参加しているメンバーの企業の紹介もしている。将来の人生のプランとして考えてもらえればと考えている。就職となったときに諏訪にはこういう企業があったなと思い出していただければ。</p> <p>若手の人材育成としてロケットを通じてものづくりをしているが、お願いであるが、いろんなどころと連携して岡谷市の人材を育成できればと考えているので、ご協力をお願いしたい。K P Iに新技術・新製品等開発件数、人材育成関連事業への参加人数とあるが、これは、信州大学だけでは超えられないハードルであると思うので、地元企業と一緒にこの目標値を達成していく、人材を育成してこの地を活性化させていきたいと考えているのでよろしくをお願いしたい。</p>
会長	<p>実際にこういうことの音頭をとる、まとめて行くのは市であるべきと考えるがどうか。</p>
企画課長	<p>工業活性化会議というものがあり、商工会議所、金融機関、信州大学等に参加していただいている。そういったところでとりまとめをして、企業への参加、地元の工業会へも勧めていく。</p>
会長	<p>体制としては、一応できているということか。</p>
企画課長	<p>はい。年2回会議を行い、検証を行い、次の行動に移していくとなっている。そういうところで意見をいただき、まとめていきたい。</p>
D委員	<p>企業に子ども達も夢を持ってもらいたいということだが、現実には子ども達は、父親を見て大変そうだな、いつも疲れているという印象が正直強い。その中で、製造業が楽しい、ものを作るのが楽しいと思わせるには、保護者、母親が足を向けられるような宣伝ができたらいいいのかなと思う。</p>
企画課長	<p>岡谷市としては、ものづくりの楽しさを伝える一番大きなイベントとして、毎年2月に行っている、「ものづくりフェア」というものがあり、市内150社くらいの企業に協力していただいて、ものづくり体験ができるようなことを行っているが、保護者向けにという意見は、参考にさせていただきたい。</p>
会長	<p>P19の空き家対策について、もの凄く問題になってきている。もうちょっと大きな問題になってくると思う。区も調査に入って区長の元で管理ができるように作っているところだが、そこに市も必要だと思う。市ももう少し大きな問題として捉えていただければ。</p> <p>提案になるが、これだけの資料をこの短時間で考えるというのはなかなか難しいと感じる。それぞれがもう一度読み返していただいて、考える時間をいただきたい。また、意見があれば、フィードバックいただける体制を取っていただけないか。</p>
企画課長	<p>お持ち帰りいただいた後に意見があれば頂戴したい。次回からの開催方法についても検討をさせていただく。</p>

会長	皆さんから意見があれば、市の方へいただければ。 それでは、以上で議事を終了する。
----	---

(3)意見交換

《新規創業者：emboss（エンボス） 代表 小松利行 様 との懇談》

5 閉会